

豊明市行政評価制度「施策」評価票

施策評価票番号

6

1 施策の概要

1-1 施策の名称	公園・緑地			基本施策コード	1 2 2
1-2 担当	部	経済建設部	課 又は施設	都市計画課	評価票作成者 都市計画課長 前田 隼
1-3 総合計画における施策の体系	節	生活環境「安全・安心で、うるおいのあるまちづくり」			
	項	水と緑の環境づくり			
1-4 施策の目的	潤いのある安全な水辺空間において、自然と親しむ市民、子供たちが川や池で遊ぶ姿を増やす。				

	平成22年度評価 (前期の成果)	平成27年度評価 (全期間の成果)
担当課評価	A	
総合評価	A	

施策評価の判定基準

- A : 施策の目的を効果的に達成しているため継続する
- B : 施策推進の実手法等に改善の必要がある

1-5 総合計画における基本成果指標	基本成果指標名	前期(平成18年度~平成22年度)			全期間(平成23年度~平成27年度)			指標の定義
		目標値(m)	実績値(m)	達成率(%)	目標値(m)	実績値(m)	達成率(%)	
	住民一人当たりの都市公園の敷地面積	4.56	4.36	96.0	5.28			豊かさを実感できる市民生活実現に必要な都市公園の整備水準

2 施策の担当課による評価結果

評価の内容	今後の環境変化を踏まえた課題認識	既存事業の構成や優先順位の考え方、新規事業の必要性の考え方	施策の担当課としての単年度の取り組みの自己評価
平成18年度	地域特性を生かした憩いの場など、市民ニーズにあった公園・緑地の推進	既存公園のリニューアル化を目指し、多くの市民が気楽に利用できる公園とする。また高齢化社会のニーズに合った健康遊具などを配置する。	公園等リニューアル化については、地域住民参加型をベースに住民のアイデアを採用し整備計画書としてとりまとめリニューアルの完成をみた。
平成19年度	"	"	地域住民からの要望に応え、防災機能を取り入れ安心安全な公園を提供することができた。
平成20年度	"	"	住民参加のワークショップを取り入れ市民が気楽に親しむ公園に整備することができた。
平成21年度	"	"	山ノ神公園を防災型にリフレッシュするため住民参加のワークショップを取り入れ市民が気楽に親しむ公園に整備することができた。
平成22年度	住民懇談会を開催し幅広く参加者の意見を尊重する。決定にあたっては参加者のコンセンサスを得ることにより、改修後の公園に愛着を持っていただけた。		
平成23年度	住民懇談会を開催し幅広く参加者の意見を尊重する。決定にあたっては参加者のコンセンサスを得ることにより、改修後の公園に愛着を持っていただけた。		
平成24年度			
平成25年度			
平成26年度			
平成27年度			

